



# 本ばこ

ほん

—新刊教材・図書紹介—  
しん かん きょう ざい と しょ しょう かい

非漢字圏初級学習者の視点で作られた  
ストーリーで覚える漢字 300

～英語・インドネシア語・タイ語・ベトナム語版～  
～英語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語版～



著者：ボイクマン総子、渡辺陽子、倉持和菜 監修：高橋秀雄 出版社：株式会社くろしお出版

〈英語・インドネシア語・タイ語・ベトナム語版〉 URL: <http://www.9640.jp>

発行年月：2008年11月 ISBN: 978-4-87424-428-9 判型・頁数：B5判、316頁 定価：1,890円

〈英語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語版〉 URL: <http://www.9640.jp>

発行年月：2008年1月 ISBN: 978-4-87424-402-9 判型・頁数：B5判、344頁 定価：1,890円

非漢字圏の初級学習者に漢字を教える際、「山」「川」といった象形文字から導入することが多いと思います。視覚的イメージを通して漢字に親しみを持ってもらえるにはいい方法なのですが、すぐにネタがつかってしまうという話にもよく聞きます。実際、漢字の中で象形文字の割合は多くありません。本書には、そんな悩みを解決するヒントがあるかもしれません。

## ▽まず、漢字の意味を覚える

本書は、300字の初級漢字について、独自の解釈によるイラストとストーリーが書かれています。それは、もともとの漢字の由来とは違うものもあります。構成は2部に分かれていて、まず150字の字形と意味を覚えて、その後で読み方と書き方を覚えるようになっていきます。日本人にとって、漢字の読み方を後で覚えるというのはちょっと驚きの発想ですが、非漢字圏の学習者にとって、一つの漢字を覚えるときに、字形を認識し、意味、読み方、書き方を同時に学習するというのは確かに大きな負担でしょう。読み方は多数あるので、なおさらです。

## ▽学習者の負担を考慮した段階的な学習

効果的に学習するために、この本では、段階的な学習の流れが考えてあります。①漢字の意味をイラストやストーリーで覚えた後、②字形の組み合わせで新たな漢字の意味が推測できるように、③またその漢字を使用した語彙の意味も推測できる力を養い、④最後に読み方と書き方を覚えます。

例えば、①「主」という字をろうそくに見立て、「昔、ろうそくが使えたのは主人だった」というストーリーがあり、②「ろうそくに水を注いで火を消す…注」という次のストーリーにつながり、③練習問題で「注意」の意味を推測させた後、④読み方と書き方を覚えるという具合です。

また、扱っている漢字熟語で、日本語能力試験3級4級の語彙がほとんどカバーできるということです。

## ▽楽しんで使い方を工夫できる

この教材の特徴である、漢字の意味を覚えるためのストーリーは、字源とは違うものもあり、無理な解釈だなあと思うものもあります。でも、それがかえって印象に残る場合もあります。もしそのストーリーに馴染めない場合は、学習者自身が漢字を分解して独自のイメージを作ればよいのではないのでしょうか。それを楽しむことができれば、未習の漢字に出会った時、推測する力でも乗り切れるかもしれません。

独学用として、またクラスで漢字指導の時間を割くことができない場合に、本書を使って自習させ、クラスで簡単なクイズを行うなど、使い方も目的に合わせて工夫できるように作られています。



p.123